

教養教育運営委員会研究調査部報告

研究調査部の運営と活動

2001年度の研究調査部の構成

1. 研究調査部名簿

研究調査部長：古畑徹

部局選出部員：岩本健良（文学部）、金子勲榮（教育学部）、五十嵐正博（法学部）、平田恩（経済学部）、藤原勝夫（医学部）、染井正徳（薬学部）、土谷正明（工学部）、矢淵孝良（外国語教育研究センター）

部会推薦部員：中林伸浩（文学部）、古畑徹（文学部）、青野透（法学部）、矢島孝昭（理学部）、細見博志（医学部）

客員部員：野口政親（本学教育学研究科大学院生）

2. 研究班・作業班一覧

| | |
|----------------|-------------|
| 企画班 | 中林・古畑・青野・矢島 |
| 部報班 | 矢淵・細見・五十嵐 |
| 広報班 | 平田・土谷・青野 |
| アンケート班 | 岩本・金子・古畑・鎌田 |
| 情報処理系幹事会オブザーバー | 古畑 |

2001年度の研究調査部の活動

1. 研究調査部会

第18回 平成13年4月24日（火）

議事：

- 平成13年度の事業計画について
 - 公開講演会について
 - 第4回金沢大学教養教育全学研究会について
 - 報告書の作成について
 - 非常勤講師へのアンケートについて
 - 学生による授業（評価）アンケートについて
 - アンケート班の増員について
 - 研究調査部研究会について
 - 金沢大学「課題と取組」で挙げた短期的検討課題について
 - 研究調査部費（予算内容の変更）について
- 教養の科目シラバス・授業時間割の問題点について

3. その他

- 大学評価・学位授与機構の大学評価のための「実情調査」について
- 教育学研究科大学院生の客員部員について
- 大学教育学会の案内について
- 各大学から送付されてきた報告書等について

第19回 平成14年8月31日（金）

議事：

- 第4回金沢大学教養教育全学研究会について
- 学生による授業アンケートについて
- 教育改善参考図書購入と配置について
- 公開授業について
- ゼミ論集作成費用の補助について
- GPA制度の導入について
- 学部の教養教育関連委員会・FD関連委員会との連携について
- その他

第20回 平成14年2月19日（火）

議事：

- 学生による授業アンケートについて
- 諸アンケートの実施について
- 2001年度後期教養的科目の試験問題集の作成について
- その他
 - 「非常勤講師アンケート」の結果と2001年度「教養的科目についてのアンケート」の結果について
 - 「公開授業」反省会の結果と記録の修正
 - 「公開授業」の実施と来年度の募集
 - 第4回教養教育全学研究会の報告書について
 - 去年の総合科目研究の報告書について
 - 今年度後期授業科目の成績分布データ作成について

2. 公開講演会

第1回教養教育機構公開講演会（学生向け）

日時：平成13年5月14日（月）12:50～14:20

場所：総合教育棟C1講義室

題目：努力すれば夢はかなうーシドニーオリンピック
に出場してー

講師：古 章子(シドニーオリンピック日本代表・金
沢学院大学教務助手)

第2回教養教育機構公開講演会(学生向け)

日時：平成13年5月17日(木)14:30~16:00

場所：総合教育棟B1講義室

題目：アフリカ その光と影ー死線を越えてヒューマ
ニズムにかけるー

講師：吉川恭生(国境なき医師団ロジスティシャン・
美術家)

第1回研究調査部公開講演会(教官向け)

日時：平成13年7月19日(木)14:30~16:00

場所：総合教育棟会議室

題目：アメリカから見たニッポンの大学教育

講師：荻谷剛彦(東京大学大学院教育学研究科教授)

第2回研究調査部公開講演会(教官向け)

日時：平成14年2月19日(火)15:00~16:30

場所：総合教育棟会議室

題目：地域に根ざした大学の教育・研究とはー佐賀大
学の若手教官が描くものー

講師：長安六(佐賀大学経済学部教授)

3. 研究会

第1回 平成13年7月23日(月)

場所：総合教育棟会議室

テーマ：工学部の授業評価アンケートについて

講師：藤田政之(工学部教務委員長)

4. 公開授業

2001年度後期に4科目で実施。公開授業後、研究会を
行った。

- ・平成13年11月16日、志村恵・ドイツ語A4(金曜
3限、全学生対象)
- ・平成13年11月22日、林田和也・統計数学(木曜1
限、医学部医学科1年対象)
- ・平成13年11月29日、樋渡保秋・物理学Ⅱ(木曜2
限、理学部生物学科・地球学科・計算科学科1年対象)
- ・平成13年12月6日、前田他栄子・生涯スポーツ演
習/ダンス(木曜4限、全学年)

5. 全学研究会関連の活動

<主催は教養教育機構、研究調査部は開催の準備をした>

第4回教養教育全学研究会

場所：KKRホテル金沢

内容：

- ・講演 Student Development とFD
林 勇二郎(金沢大学長)
- ・シンポジウム 学生は授業をどのように見ているか
第1部・報告
・新潟大学教養教育における学生による授業評価につ
いて
加藤かおり(新潟大学大学教育開発研究
センター助教授)
- ・金沢大学工学部の授業評価アンケートについて
藤田政之(工学部教務委員長)
- ・教養的科目アンケートから見た学生の授業への要望
古畑 徹(研究調査部長)
- 第2部・パネルディスカッション
・学生からのコメント
・全体討議

6. アンケート調査

- ・教育改善のための新入生向けアンケート
平成13年4月9日(月)の新入生向けの教養的科目ガ
イダンスの時間を利用して実施した。
- ・履修登録に関するアンケート
平成13年4月9日(月)の新入生向けの教養的科目ガ
イダンスの時間に配布し、4月24日(火)までに共
通教育室学務係に提出させる方式で実施した。
- ・教養的科目についてのアンケート
平成13年9月の前期成績交付時にアンケート用紙を
配布し、10月15日(月)までに共通教育室学務係に提
出させる方式で実施した。
- ・教養的科目の改善のための非常勤講師アンケート
前期授業担当の非常勤講師の方には8月に、後期のみ
授業担当の非常勤講師の方には10月に、郵送及び共
通教育室学務係に持参いただく方式で実施した。
- ・学生による授業アンケート(教養的科目)
平成13年度後期の最終授業もしくは定期試験日に各
授業担当者に実施してもらい、研究調査部で集計した。

実施率は 66.3% (584 科目中 387 科目で実施)。3 月中に結果を各教員に送付。

- ・学生による授業アンケートの集計結果公表と今後の改善についてのアンケート

学生による授業アンケートの個別結果を各教員に送付するときに同封して配布し、平成 14 年 3 月 22 日

(金) までに共通教育室学務係に返送する方式で実施

- ・教養的科目の成績評価方法についての調査

平成 14 年 3 月に平成 13 年度後期授業担当者にアンケート用紙を送付し、共通教育室学務係に返送してもらう方式で実施した。

6. 教養教育ニュースの発行

第 4 号 2001 年 7 月 13 日発行

2001 年度第 1 回研究調査部公開講演会開催案内／2001 年度第 1 回研究調査部研究会開催案内／第 3 回教養教育全学研究会開催報告／第 4 回教養教育全学研究会開催 (予定) 案内／学生相談研修会開催報告／〈学習を支援するテストを〉『成長するティップス先生』の紹介

第 5 号 (第 6 号と誤記) 2002 年 1 月 28 日発行

大学教育学会 2001 年度課題研究集会「大学カリキュ

ラムの未来—コア科目開発の現状と課題—」参加報告／2001 年度後期教養的科目「公開授業」実施報告／2001 年度第 2 回研究調査部公開講演会のおしらせ／山梨大学工学部の退学勧告制度から考える

7. その他

- ・「教養的科目における学生による授業評価実施の調査・研究」というプロジェクトで、文部科学省の平成 13 年度教育改善充実特別事業経費を取得し、「学生による授業アンケート」を平成 13 年度後期に実施した。
- ・2001 年 12 月 8～9 日に、東京・玉川大学で開かれた大学教育学会 2001 年度課題研究集会「大学カリキュラムの未来—コア科目開発の現状と展望」に古畑部員・志村文学部助教授を派遣。
- ・2002 年 1 月 26～27 日に、東京・八王子の大学セミナー・ハウスで開かれた第 23 回大学教員研修プログラム「学生を活かすカリキュラム」(主催：財団法人大学セミナー・ハウス) に細見部員を派遣。
- ・研究調査部経費の中に総合科目支援経費を設け、2001 年 12 月に次年度開講予定の総合科目コーディネータに対して募集を行ったところ、6 件の応募があり、約 23 万円を支出した。

研究調査部平成13年度購入図書一覧

本年度は、授業改善用図書を購入し、非常勤講師控室に常備することにした。以下の図書が、購入した授業改善用図書である。

- 『成長するティップス先生』、池田輝政・戸田山和久ほか著、玉川大学出版部、2001.4
 - 『授業をどうする！ カリフォルニア大学バークレー校の授業改善のためのアイデア集』香取草之助監訳、香取草之助・安岡高志他訳、東海大学出版会、1995.12
 - 『大学の講義法』D. A. ブライ著、山口栄一訳、玉川大学出版部、1985.10
 - 『大学の授業』宇佐見寛著、東信堂、1999.12
 - 『大学力を創る：FDハンドブック』財団法人大学セミナーハウス編、東信堂、1999.3
 - 『学生参画授業論－人間らしい「学びの場づくり」の理論と方法－』林義樹著、学文社、1994.11
 - 『大学の授業をつくる 発想と技法』経済学教育学会編、青木書店、1998.4
 - 『大学の授業－岡山大学における実践の記録－』神立春樹著、大学教育出版、1998.4
 - 『大学教師の自己改善 教える勇気』P. J. パーマー著、吉永契一郎訳、玉川大学出版部、2000.11
 - 『大学授業の心得 数学の教え方をとおして』S.G. クランツ著、蓮井敏訳、玉川大学出版部、1998.5
 - 『ガイドブック 大学授業の改善』伊藤秀子・大塚雄作編、有斐閣選書、1999.5
 - 『大学の教育・授業をどうする FDのすすめ』日本私立大学連盟編、東海大学出版会、1999.3
 - 『大学の教育・授業の変革と創造 教育から学習へ』日本私立大学連盟編、東海大学出版会、1999.3
- 通常どおり、購入して研究調査部室（総合教育棟718号室）に所蔵されているのは、以下の図書である。
- *玉川大学出版部
 - 『新版 戦後大学政策の展開』黒羽亮一 2000.1
 - 『大学授業のフィールドワーク－京都大学公開実験授業－』京大高等教育教授システム開発センター編 2001.3
 - 『現代大学の変革と政策－歴史的・比較的考察－』喜多村和之 2001.3
 - 『未来形の大学』市川昭午 2001.4
 - 『大学・知識・市場<高等教育研究第4集>』 2001.5
 - 『大学授業の生態誌－「要領よく」生きようとする学生－』 2001.5
 - 『大学改革のゆくえ－模倣から創造へ－』 天野郁夫 2001.7
 - 『イギリスの教育－歴史との対話－』 R. オルドリッチ 2001.9
 - 『多文化共生社会の教育』 天野正治ほか 2001.9
 - 『大学改革の現場へ』 山岸駿介 2001.12
 - 『学生参加型の大学授業－協同学習への実践ガイド－』 D. W. ジョンソンほか 2001.12
 - *新潮社
 - 『大学生の常識』 鈴木雄雅 2001.11（新潮選書）
 - *紫峰図書
 - 『大学教育の再生をめざす－FD実践事例に学ぶ－』 清水一彦 2001.1
 - *丸善
 - 『大学の社会的責任－大学における学問・教育・人材育成－』 大学の研究教育を考える会 2001.1
 - *東洋経済新報社
 - 『大学改革－課題と争点－』 青木昌彦ほか 2001.2
 - *大学教育出版
 - 『文化系短大生のためのスタディ・スキルズ』谷川裕稔ほか 2001.4
 - 『アメリカ・コミュニティカレッジの補習教育』 谷川裕稔 2001.4
 - *東海大学出版会
 - 『大学の教育・授業の未来像－多様化するFD－（大学の教育・授業を考える3）』 2001.3
 - *ぎょうせい
 - 『「学び」とはなにか－学力づくりを考える－』月刊「悠」編集部 2001.8
 - *ナカニシヤ出版
 - 『大学生の自己と生き方－大学生固有の意味世界に迫る 大学生心理学－』 溝上慎一 2001.10
 - *東信堂
 - 『立教大学<全カリ>のすべて－リベラル・アーツの再構築－』 全カリの記録編集委員会
 - 『アメリカ大学史とジェンダー』 坂本辰朗